

見えない災害を見える災害へ

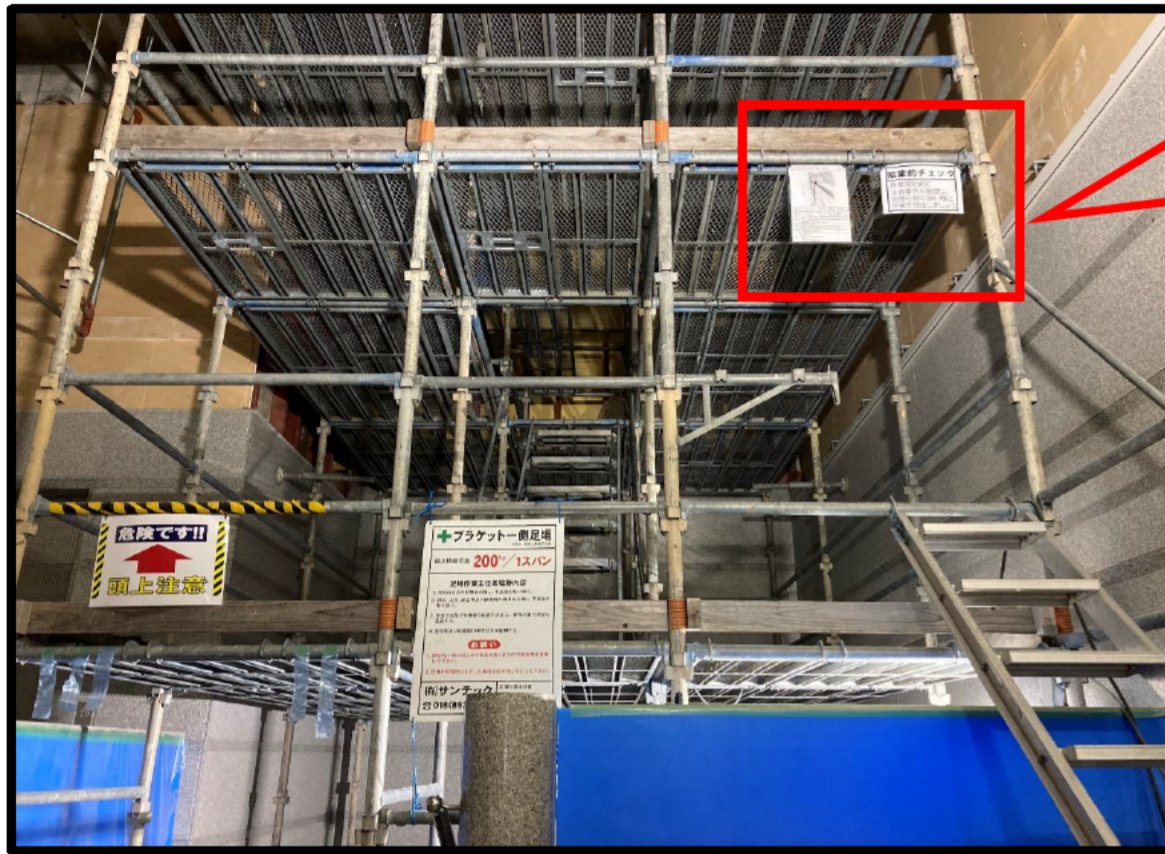


図1 足場に潜む見えない災害の見える化

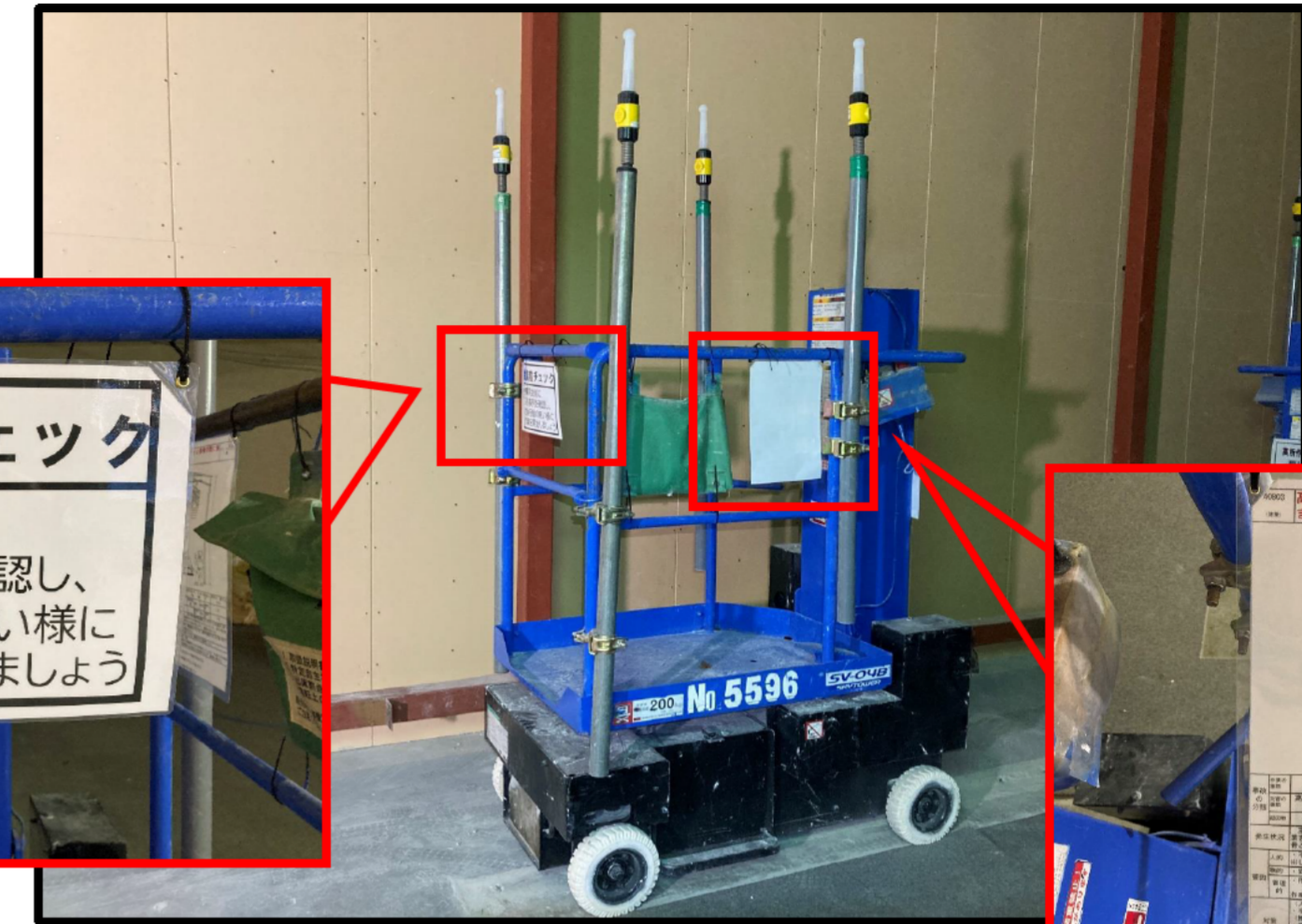
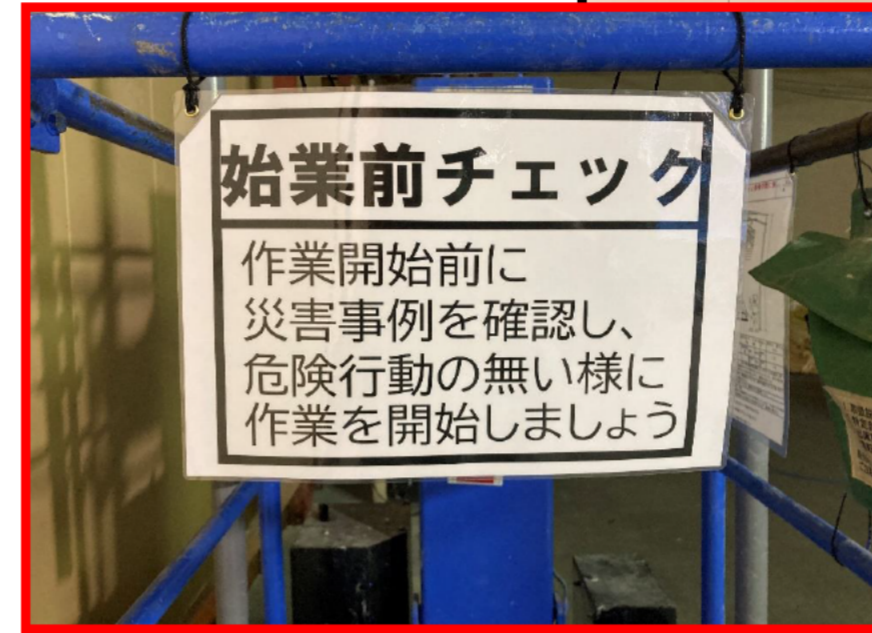


図2 高所作業車に潜む見えない災害の見える化

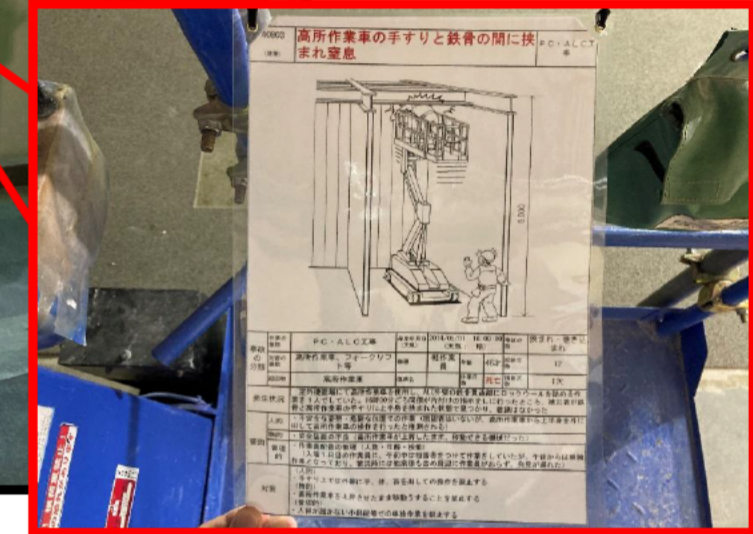


図3 足場や高所作業車について、見える化された災害の周知

現場内には、見えない災害の危険が多く存在する。
千秋美術館改修作業所では、足場や高所作業車などの作業場に潜む災害の危険に焦点を当て、見える化を行った。
図1のように、足場の昇降口(入口)に始業前チェックの看板と、災害事例を設置し、足場作業を開始する前に災害事例を通し、足場での作業の危険性を知ってから作業を開始してもらっている。
図2も同様に、始業前チェックの看板とともに災害事例を設置し今までは見えない災害であったものを、〈見える化〉を行い、各作業員にこれから始める作業の危険性を見て知ってもらっている。また高所作業車には一つ一つ違う災害事例を設置している。
図3は、昼礼にて各自利用した高所作業車の災害事例を周知しあっている様子だ。各作業員が発表をすることでより災害について理解できる。
これらのことより、見えない災害を〈見える化〉することで、見て、言って、聞いて災